

平成27年12月4日

参 考 資 料

在日米陸軍 相模総合補給廠での火災に関する調査状況について

本日（4日）、本年8月24日に相模総合補給廠内で発生した火災に関し、防衛省及び外務省から調査状況の説明がありましたのでお知らせします。

1 説明概要

米側から、周辺住民に多大な不安を与えたとして遺憾の意が改めて表されるとともに、調査状況について次のとおり情報提供があった。

（1）火災の原因

- ・ 現時点において、確実な火災原因を特定するまでには至っていない。
- ・ 放火及び故意の破壊行為は原因の可能性として考えられない。また、稲妻のような自然現象、電気設備の機能不全及び建物構造そのものが原因ではない。
- ・ 酸素ポンベの1つに欠陥のあるガスケット（圧力容器などの隙間を塞ぐ器具）又は機能不全のバルブがあったことが火災の原因として最も可能性が高い。

（2）再発防止策

- ・ 相模総合補給廠内の全ての倉庫の消火設備について点検を実施した。
- ・ 相模総合補給廠内に保管している損傷のない全ての酸素ポンベについて点検し、安全であることを確認した。
- ・ 相模総合補給廠内への酸素ポンベの輸送を全て保留した。

2 県の対応

原因究明に向けた引き続きの調査、再発防止策の徹底及び基地周辺住民の安全確保に向けた万全の措置を求めました。

3 添付資料

（1）知事コメント

（2）防衛省・外務省提供資料

（問い合わせ先）

神奈川県政策局基地対策部基地対策課

課長 三森 電話 045-210-3370

副課長 中村 電話 045-210-3371